

「遺伝性乳癌卵巣癌に対する、対側乳房予防切除術についての後方視的研究」
ご協力をお願い

今回、当院では、3cm 以下の HER2 陽性乳癌に対して周術期治療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させて頂きたいと考えています。

研究の目的

HER2 陽性乳癌の周術期治療について、効果が高くリスクの少ない治療レジメンの確立を目指しています。当院では画像評価と病理学的評価の二段階の評価を元に、アンスラサイクリン系レジメンを安全に省略する方法をとっており、これらの知見について、広く発表し議論を深めることが目的です。

研究の方法

- ・対象となる患者様について

2020 年以降に当院で手術された HER2 陽性乳癌の患者様

- ・研究期間について

倫理審査委員会承認日～2026 年 12 月 31 日とします

- ・方法について

上記対象となる方の診療録より情報収集し、腫瘍径が 3 cm 以下、画像的にリンパ節転移がなく、術前化学療法を受けられた症例について、患者背景、治療内容、経過について検討を行います。

- ・研究に用いる試料・情報について

性、年齢、乳癌手術時年齢、疾患関連情報（病理組織学的検査、Stage、治療歴、術式、転移臓器など）、周術期治療内容、手術関連情報（入院期間、術式、出血量、合併症など）、治療経過などです。

- ・資料の管理について

情報は全て匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究の参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者様に不利益が生じることは一切ありません。この研究計画についてご質問などがある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 京都第一赤十字病院 乳腺外科 糸井 尚子、大橋 まひろ
電話 075-561-1121（代）